

輸送動向について(平成20年9月)

平成20年10月

1. 輸送概況

今月は、上旬に東海地方での局地的な集中豪雨による輸送障害が発生したほか、中旬には台風13号の接近に伴う輸送手配があり、高速貨149本が運休した。

荷動きは、輸送障害の影響を受けたほか、天候不順により季節商品の需要に盛り上がりを見せた。また、一部メーカーの減産体制による需要の減少も見られ、月全体を通して低調に推移した。

品目別にみると、コンテナ貨物は、食料工業品、積合せ貨物が前年を下回ったものの、農産品・青果物、自動車部品、家電・情報機器などが前年を上回り、全体では前年比103.0%となった。農産品・青果物は北海道地区の野菜類が生育良好により、出荷が強勢となった。一方、食料工業品は昨年より気温が低めに推移したため、清涼飲料水が大きく減送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油が前年を大きく下回り、全体では86.0%となった。石油は燃料転換の進展のほか、10月の仕切り価格の改定を見越した買い控えもあり、灯油を中心に大きく減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,982	1,924	103.0%	11,557	11,253	102.7%
車 扱	811	943	86.0%	5,039	5,686	88.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	240	223	17	107.6%
	化学工業品	187	183	4	102.2%
	化学薬品	138	134	4	103.0%
	食料工業品	266	277	-11	96.0%
	紙・パルプ	308	300	8	102.7%
	他工業品	154	147	7	104.8%
	積合せ貨物	197	201	-4	98.0%
	自動車部品	79	66	13	119.7%
	家電・情報機器	38	33	5	115.2%
	エコ関連物資	31	28	3	110.7%
	その他	344	326	18	105.5%
	コンテナ計	1,982	1,924	58	103.0%
車 扱	石油	479	577	-98	83.0%
	セメント・石灰石	138	134	4	103.1%
	車 両	93	111	-18	83.1%
	その他	101	121	-20	84.1%
	車 扱 計	811	943	-132	86.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)